

鼻副鼻腔内反性乳頭腫に対して手術を受けたことのある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

当院における鼻副鼻腔内反性乳頭腫に対する術式選択について

【研究の目的】

鼻副鼻腔内反性乳頭腫(sinonasal inverted papilloma : IP)は、高い術後再発率が報告されている点や、悪性腫瘍への転化のリスクがある点で特殊な腫瘍といえます。治療法は腫瘍の完全摘出が基本とされ、従来 of 切開による直視下の手術に加え、近年では内視鏡下（単独）での腫瘍の完全摘出が可能となっています。

様々な術式が報告されていますが、特に腫瘍の進展度が深部（上顎洞外側や前頭洞など）にある症例に対応した術式選択の明確な基準がないのが現状です。

今回の研究は、鼻副鼻腔内反性乳頭腫に対して手術を行った患者さんのカルテを調査して、副鼻腔深部まで進展している症例における術式選択を明確にします。

【対象となる方】

2016 年 4 月から 2025 年 6 月の間に手術を施行された方
術後 12 ヶ月以上の外来診療を受けている方

【使用する診療情報】

使用する診療記録は以下の通りです。

年齢・性別・画像検査（CT 検査、MRI 検査）・手術所見・病理結果・術後の経過
なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会からの承認後、病院長の許可日(2025 年 7 月 18 日)から 2026 年 6 月 30 日まで実施され、約 100 名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などに変更されたのち解析を行います。また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授 田中康広

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 専攻医：田中星有

電話番号：048-965-8681（医局直通） 平日 9:00-17:00

以上